

自転車用ヘルメットの使用に関する実地調査について（案）

第 1 目的

自転車利用者のヘルメットの着用状況を把握するため、都内市街地におけるヘルメットの着用の有無及び対象者の属性等を観測する。

第 2 調査内容

自転車利用者のヘルメットの着用の有無及び調査対象の属性等を、時間帯別に、人手又はビデオ撮影により観測する。

1 調査時期

令和 5 年 9 月から 10 月の 1 日で、降雨の可能性が低く、通行量が多いと見込まれる 3 時間（午前 7 時から午後 6 時までの間）に実施する。

2 調査場所

都内の計 10 地点で実施する。東京都の人口推計¹より、表 1 のとおり人口比を考慮し、区部 7 地点、市町村部 3 地点とした。

表 1 区市別人口と調査地点数

地域	人口	全体に占める割合	調査地点数
総数	13,988,129	—	—
区部	9,671,141	69 %	7 地点
市部	4,237,962	30 %	3 地点

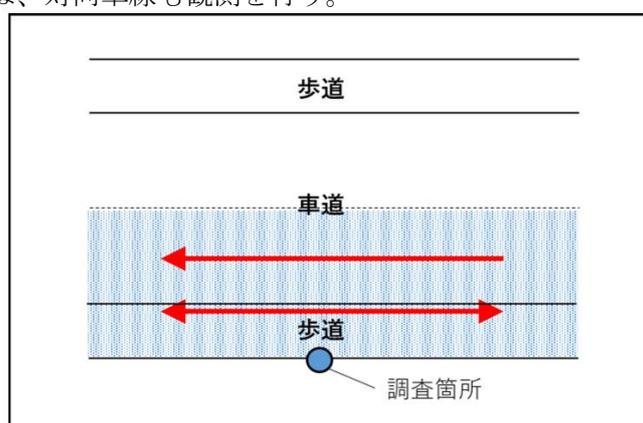
警視庁の各種統計等より、自転車事故件数の多い区市の交差点付近を調査地点とした。具体的な調査地点案は表 2 のとおり。選定の考え方については、P.4 [参考] 調査地点の選定の考え方を参照のこと。

¹ 東京都 区市町村別人口・面積（令和 4 年 1 月 1 日時点の「東京都の人口（推計）」から）
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/tokvoto/profile/gaiyo/kushichoson.html>

表 2 調査地点案

エリア	市区町村	調査場所	調査地点
都心・副都心	港区	六本木通り沿線	麻布警察署の前の交差点
城東	足立区	北千住駅から日光街道までのブロック	北千住駅前の交差点
	江戸川区	小岩駅を含む都道60号から国道14号までの間	小岩駅の交差点
城西	世田谷区	三軒茶屋駅田園都市線北口から世田谷線にかけて	三軒茶屋駅の交差点
	練馬区	練馬駅から桜台駅にかけての千川通沿い	練馬消防署前の交差点
城南	大田区	蒲田駅西口から西蒲田公園を含む環八通りまでのL字型ブロック	蒲田駅の交差点
城北	板橋区	大山駅北東側の首都高5号線と都道420号線までのブロック	板橋区役所前の交差点
北多摩	立川市	立川駅より東側の南北両側一帯	立川駅前の交差点
	調布市	調布駅を中心とした一帯	調布市役所の前の交差点
西・南多摩	八王子市	西八王子駅周辺と国道20号沿線まで	西八王子駅前の甲州街道の交差点

また、観測対象範囲は、道路の片側車線とする。ただし、道幅が狭い等で容易に確認できるのであれば、対向車線も観測を行う。



■ 観測対象範囲

図 1 観測対象範囲

3 調査対象

調査地点を通過する自転車の運転者及び同乗者を観測し、ヘルメットの着用の有無等について判別し、集計する。なお、分類は表3に示す14種類とし、集計は1時間毎とする。

表3 調査対象の集計分類案

	運転者／同乗者	自転車用ヘルメット	年齢	性別	あごひも
①	運転者	着用	概ね中学生以上	男性	している
②					外している又は緩い
③				女性	している
④					外している又は緩い
⑤			概ね小学生以下	男性	している
⑥					外している又は緩い
⑦				女性	している
⑧					外している又は緩い
⑨		非着用	概ね中学生以上	男性	—
⑩				女性	
⑪			概ね小学生以下	男性	
⑫				女性	
⑬	同乗者	着用	— (概ね小学生未満)	—	
⑭		非着用			

[参考] 調査地点の選定の考え方

東京都内のエリアを、図2のとおり、城北、城東、城南、城西、都心・副都心地区、北多摩地区、西・南多摩地区の7エリアに区分した。(図2) また、北多摩地区は、北部、西部、南部に細分した。(図3)

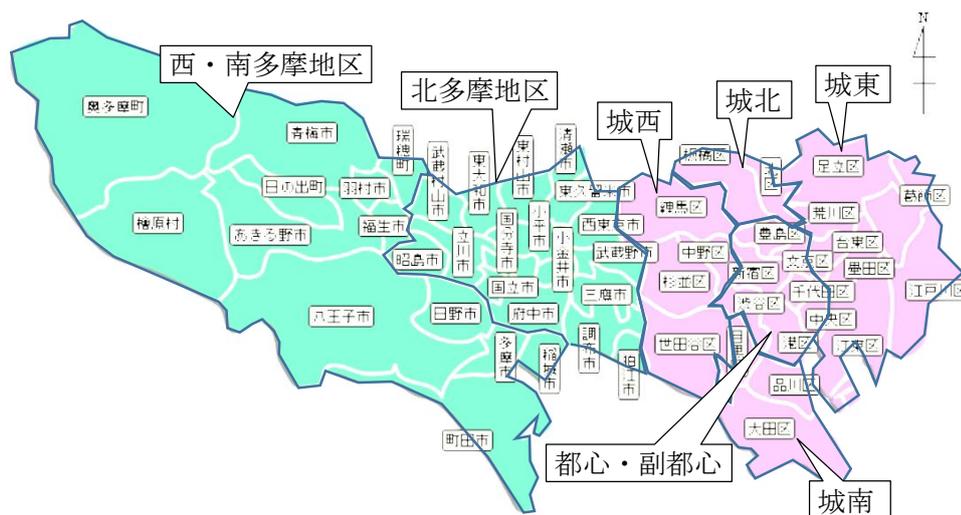


図2 東京都内エリア分け図²



図3 多摩地域のエリア区分³

² 東京都 都内区市町村マップ

³ 東久留米市「多摩地域における財政分析の比較表」

警視庁の自転車事故関連データ⁴より、区市町村別の昼間帯の事故件数に着目し、エリア別で事故件数が上位の区市を選定した。(表4、表5)

表4 昼間帯の自転車事故件数(23区)と調査対象

(区部 7地点)

エリア	23区	事故件数(件)	順位	エリア別順位	調査対象
城東	足立区	773	1位	1位	○
城西	世田谷区	684	2位	1位	○
城南	大田区	576	3位	1位	○
城東	江戸川区	564	4位	2位	○
城東	江東区	499	5位	3位	
城東	葛飾区	398	6位	4位	
城北	板橋区	368	7位	1位	○
城西	練馬区	350	8位	2位	○
都心・副都心	港区	277	—	1位	○

表5 昼間帯の自転車事故件数(市町村)と調査対象

(市町村 3地点)

エリア	市町村	事故件数(件)	順位	エリア別順位	調査地点
西・南多摩	八王子市	355	1位	1位	○
西・南多摩	町田市	284	2位	2位	
北多摩南部	調布市	234	3位	1位	○
北多摩西部	立川市	217	4位	1位	○
北多摩南部	武蔵野市	202	5位	2位	

また、警視庁の自転車事故分析資料⁵より、交差点での事故が特に多いことから、交差点付近での調査の実施することとし、「各警察署の自転車指導啓発重点地区・路線図」⁶と「駅・駐輪場の位置」のもとに候補地を選定した。

⁴ 警視庁 月別・時間帯別クロス(令和4年)

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/jokyo_tokei/tokei_jokyo/bicycle.files/006_04.pdf

⁵ 警視庁 自転車事故分析資料(2022年中)

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/jokyo_tokei/tokei_jokyo/bicycle.files/002_04.pdf

⁶ 警視庁 自転車指導啓発重点地区・路線

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/bicycle_plan.html